

教育カウンセラー沖縄

〒902-0061 沖縄県那覇市寄宮1-8-48 那覇教育会館4階 電話 098-851-5257 代表：川上 啓一

1：教育カウンセラー養成講座終了！

2月10日（土）、11日（日）、12日（月・祝日）の3日間、浦添市産業振興センター結の街にて、教育カウンセラー養成講座が開催されました。初級コース28人、グレードアップコース6人、部分受講として29人の参加がありました。また、今回の中級受験者は3名でした。沖縄支部では、毎年の中級試験にチャレンジする方がいらっしや、とても心強いです。子ども達を支援するためには、自身のスキルアップが必須です。私ども沖縄教育カウンセラー協会は、常に会員の皆さんの学びを応援していきたいと思っております。これからも一緒に学んでいきましょうね。

〈A基礎コース〉

①「心身の生涯発達と発達課題」

公立学校スクールカウンセラー 神保しげみ

- ・生涯発達についてポイントを押さえ要約されており、分かりやすかった。また、発達課題についても、子どもたちのこういった特性や特徴から課題を理解し、課題解決のための見通しを立てて支援、関わりをもっていけばいいのか、理解できました。
- ・心の成長には、身体の成長が関係していることは、教育現場にいるとなんとなく知っている事だが、しっかりとした理論に基づいて子どもたちの発達を見ることが大切だと感じました。なんとなく…ではなく、しっかりとした知識と理論を持って子ども達の対応をしていけるようがんばりたいと思います。
- ・自分が関わっている子ども達のためと思って受講したが、自分自身の発達、自分の子供の発達等を振り返ることが出来た。自分が関わっている不登校家庭の保護者の方々とも共有したい内容でした。

②A・B合同

「構成的グループエンカウンター」

上級教育カウンセラー 川端久詩

- ・緊張で固かった自分が、この講座を通して自分がほぐれていくのがわかった。現場でどのようにいかにされるのか、分からないですが、今日のこの感覚を忘れないでいたいです
- ・クラスでSGEをする際、イヤな気持ちや苦手に思う子に配慮して、ほんの触りの内容しかできなかったが、参加をよしとしない子への配慮や言葉かけ、説明、別の役割を与えて見守る、も守ってもらうことの意味が理解できました。理解できたので、もう少し取り組みを進めてみたい、学びたいと思いました。「自分も体験してみる」心に留めていきたいと思います。



・SGE、初めてでしたが、こんなに楽しく開放的になれるものだとわかり、素敵な体験でした!! はじめは少し居心地も悪くドキドキしていましたが、話しているうちに、相手のことも自分のこともわかってきて「あ、自分ってこんな風に思ってたんだ」と意外な面も出てきました。自分ばかりしゃべってしまうところが悪いクセなの分かってはいましたが改めてそれを感じました。また違うメンバーでやってみたい。

③「いじめ・不登校問題への対応」

公立学校スクールカウンセラー 下門美恵子

・事例や多くの資料、ありがとうございました。いじめがいけないことで、人権をふみにじることだということを、子どもたちにきちんとと和えられる教師になりたいと思います。

・とても勉強になる講座でした。いじめ・不登校はとても難しい問題です。実際に不登校の生徒を受け持ったことがあります。私の勉強不足もあり、どのように対応したら良いのか分かりませんでした。今回学んだことを次へ活かしたいと思いました。いじめや不登校の生徒の保護者対応の仕方をもっと聴きたかったです。

・いじめは「弱い子」に起こるのではなく、「どの子にも起こりうる」というのは、本当にそうだなと思いました。この視点を持つことによって、いじめられた人、またイジメた人への指導、相談のとりくみ方が変わるなと思いました。

④A・B合同

「アドラー心理学による子ども支援」

文教大学教授 会沢信彦

・特に「不適切行動の目標」について、実際接した少年たちを思い出しました。まさに、これら4パターンにあてはまるなあと思いました。今まであまり関心なかったのですが、アドラーの本をいくつか読んでみようかと思います。

・笑い声があふれる研修は初めてでごく楽しかったです。見方を変えて“勇気づけ”ができるよう努力したいと思いました。学生気分を久々認味わいました。

・グループワークあり、笑いありで、最高のファシリテート力を学ばせていただきました。何度学んでも、まだまだ勉強不足を感じ、継続して行こうする価値と意味、必要性も再認識できました。毎回ためになる講座をありがとうございます。今日の出会いとつながりにも感謝します!

⑤「個別面接の基本技法」

北海商科大学教授 大友秀人

・ロールプレイで次々と役割を交代しながらの体験は、すごく分かりやすいし、スッと心に入ってきました。技法・理論をしっかり学び、温かみのある人間になれるように、心の修行もすすめて行きたいと思います。まずは自分自身を見つめ直せるよう、努力します。

・百聞は一見に如かずで、大友先生の面接のときのうなづきや、言葉かけなど、見て感じる事ができて、今日来てよかった～と思いました。また、何度も模擬面接のようなことを行って、やって学び、見て学びでした。

・カウンセリング、難しさを知るとともに、少しずつやってみようという気持ちになりました。日々気になる子、親と対応していますが、カウンセリングマインド(心と技と)、実践していきます。



⑥ 「教育カウンセリング概論」

琉球大学非常勤講師 仲村将義

- ・「治す」より「育てる」、問題が起きる前に予防する事!! 各個人個人の能力を伸ばす対応が必要とあり、幼稚園で勤務している私にとってはすごく大事なことだと感じました。また、学級経営で管理型にさせてしまいがちだと考えさせられました。
- ・「世界には70億の正しさがあって、その正しさの価値はすべて対等である」という仲村先生の言葉に感動し、みんな違って良いという事が本当に理解できた様に感じました。
- ・能動的技法の必要性。受容するだけ、共感するだけではなく、一緒に考えたり、グループで体験したりすることで、スキルを身につけていく。一緒に成長していくことが、大事なことだと理解できました。



《グレードアップコース》

① 「不登校対応の実際—FR式不登校チャートの活用—」

上級教育カウンセラー 川端久詩

- ・問題には原因・理由があるので、「認識の段階」の「問題のとらえ方」という考え方はとてもよかったです。
- ・すべてうんうんとうなずける話でした。その中でも自分の相談のくせや出来立っていないことを見直すことができた。学校へ連れてくることはできた、学級に復帰させることがうまくいかない毎日、来年神奈川へ行こうと思いました。
- ・私が思っている不登校の保護者への思いの認識の違いに反省させられ、目からウロコでした。本音で伝え、一言を大切に味方になりたいです。

② (A・B合同)

③ 「問題行動の見方・考え方」

文教大学教授 会沢信彦

- ・特に問題行動を、ご学習とし、子どものせいにはしないという考え方に、心が軽くなりました。環境を整えることで、適切な行動に導くことの大切さを学びました。
- ・まさしく今抱えている課題の解決法が多々ありました。「叱る」ことが、強化子になる場合もあり、望ましい行動へ結びつかない。本人を変えるより、環境（刺激）を変えることを、まず実行していきたい。とても分かりやすく、内容、事例共にストーンと落ちました。ジョークも交え、先生のお人柄も加わり、あっという間の研修でした。
- ・理論は大事！ わかっているのですが・・・。先生のユーモアいっぱいのお話でCLの状況をアセスメントするために、どうしても理論はかかせないと再確認できました。知識を体験とつながるように、日々、解釈するクセをつけたいと思います。

④ (A・B合同)